

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



水陸両用作戦



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



沖縄県内で実施を検討している訓練内容 【陸上作戦（協同基地等警備訓練）】

陸上自衛隊の部隊が各自衛隊基地、訓練場等に展開し、航空自衛隊との協同基地等警備訓練を実施します。生地には無線通信中継のみのために展開し、基地の内外を問わず実弾を使用した訓練はありません。

○期 間：令和7年10月20日（月）～10月31日（金）

※夜間訓練、空包使用及びドローン訓練を含みます。

○参加部隊：陸上自衛隊：陸上総隊（中特防、対特衛） 約120名

西部方面隊（第15旅団、CH×1、UH×1、第2特科団等） 約800名

北部方面隊（第5旅団） 約60名

航空自衛隊：南西航空方面隊（第9航空団、南西航空警戒管制団、南西高射群） 約80名

訓練予定場所



各基地、分屯基地、駐屯地毎、陸上自衛隊と航空自衛隊との協同による基地警備訓練を行います。

訓練イメージ



協同基地警備訓練



小型ドローンの飛行

沖縄県で実施を検討している訓練内容

【統合後方運用(物資輸送訓練)】

PFI船舶で北海道から愛知県、大分県、鹿児島県を經由して、沖縄県（中城湾港、平良港、石垣港）まで部隊・装備品を輸送する訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月20日（月）～10月29日（水）

【参加部隊】陸上自衛隊：西部方面システム通信群

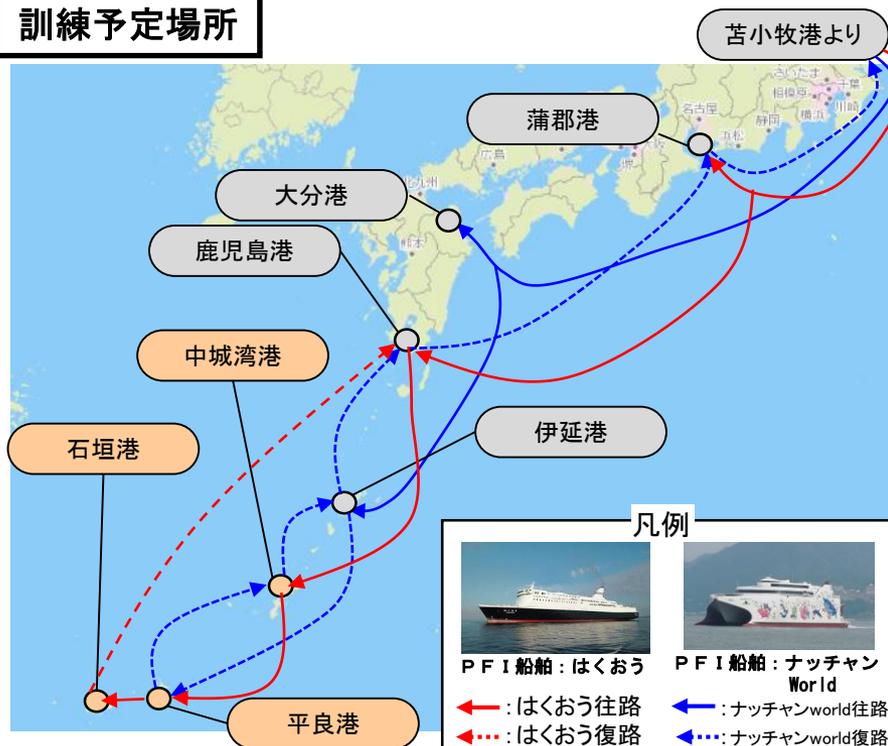
航空自衛隊：高射教導群、中部高射群、第2基地防空隊

【使用装備品】PAC3発射機（LS）、レーダー装置、燃料タンク車等

その他：PFI船舶（はくおう及びナッチャンWorld）

【実施地域】中城湾港・平良港・石垣港（他北海道、愛知県、大分県・鹿児島県の港湾を使用予定）

訓練予定場所



訓練イメージ



【PFI船舶：はくおう】

- ・中城湾港において、蒲郡港から乗船した空自部隊(高射教導群)を卸下します。発射機(LS)の卸下はありません。
- ・平良港において蒲郡港から乗船した空自部隊(中部高射群第15高射隊)を卸下します。発射機(LS)を卸下します。
- ・石垣港において鹿児島港から乗船した陸自部隊(西部方面システム通信群)を卸下します。発射機(LS)の卸下はありません。
- ・石垣港で卸下した陸自部隊を乗船させ、鹿児島港に帰港します。

【PFI船舶：ナッチャン】

- ・平良港においてはくおうから下船した空自部隊を乗船させます。
- ・中城湾港においてはくおうから下船した空自部隊を乗船させ和泊港、鹿児島港を經由し、蒲郡港へ帰港します。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

【統合通信訓練】

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

本訓練のため、陸上自衛隊及び海上自衛隊の通信部隊が石垣島、宮古島及び与那国島に展開し、通信回線を構成いたします。

○期 間：令和7年10月24日（金）～10月31日（金）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

○参加部隊：陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約30名（車両：12両程度）
海上自衛隊 システム通信隊群 約15名（車両：5両程度）

○実施場所：宮古島駐屯地、宮古島分屯基地、石垣駐屯地、与那国駐屯地、伊野田漁港、前勢岳展望台、東崎展望台駐車場、立神岩展望台駐車場、アヤマハビル館駐車場

訓練予定場所

(沖縄県) 鹿兒島港



石垣島、宮古島及び与那国島への移動については、通信器材、車両等はPFI船（はくおう）及び貨物船を使用、人員については民間航空機を使用

訓練イメージ



【OH多重通信装置】



【衛星通信装置】



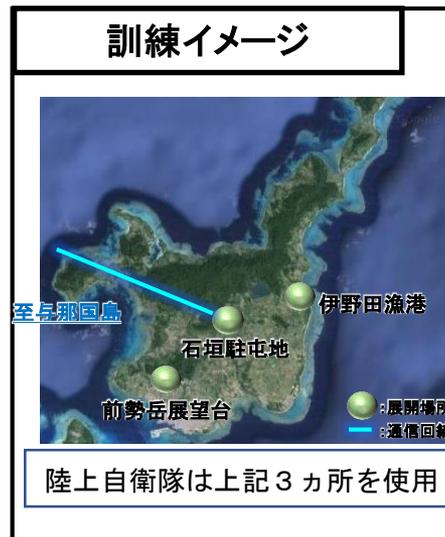
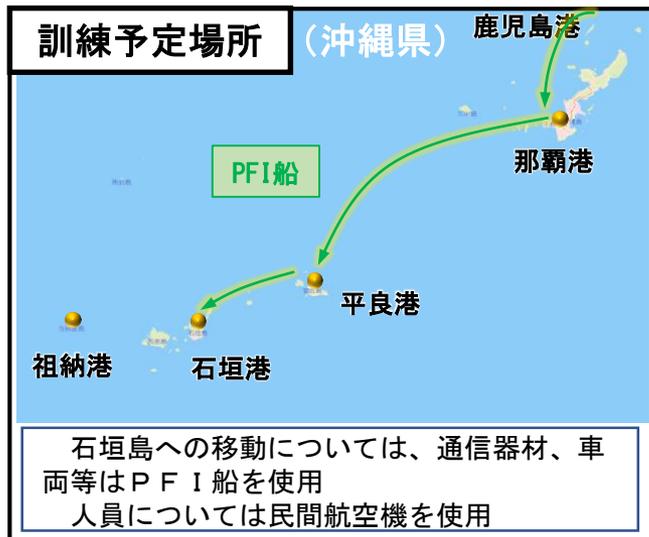
石垣島で実施を検討している訓練内容

【統合通信訓練】

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

本訓練のため、陸上自衛隊の通信部隊が石垣島に車両（OH多重通信装置）を展開し、通信回線を構成いたします。

- 期間：令和7年10月24日（金）～10月28日（火） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
- 参加部隊：陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約10名（車両：5両程度）
- 実施場所：石垣駐屯地、伊野田漁港、前勢岳展望台



石垣市及び竹富町で実施を検討している訓練内容 【災害対処訓練】

自衛隊及び米軍が共同して災害対処に係る訓練を実施します。

その際、石垣港、ヘリポート等を使用し、①航空機（陸自CH-47・UH-60）及び艦艇（米軍汎用揚陸艦）を使用した避難訓練、②航空機（陸自CH-47・UH-60、米C-130）及び艦艇（米軍汎用揚陸艦）を使用した支援物資輸送訓練、③共同衛生訓練（応急医療・後送）を検討しています。

【期 間】令和7年10月26日（日）（準備と予備等も含めると約4日間）

【参加部隊】陸上自衛隊：西部方面隊第15旅団（主力は八重山警備隊、航空機はCH-47×1、UH-60×1）

米 軍：合計約60名（参加アセット：C-130、汎用揚陸艦（LCU））

訓練予定場所及びイメージ

【自衛隊CH-47】



【自衛隊UH-60】



【米C-130】



【米軍汎用揚陸艦】



- ①住民避難は、大原HP→石垣空港及び石垣港
②緊急支援物資輸送は、那覇空港→石垣空港→大原HP
那覇空港→石垣空港→住吉HP
③患者搬送は、住吉HP→石垣空港
それぞれ上記のとおり想定しております。

※ 訓練実施場所は今後の調整等により具体化

